

編集後記

編集委員を拝命して以来、本学会誌への多くの方々の寄与を実感しております。皆様のご貢献に感謝いたします。

ところで、最近、「ギャンブル飯」を目的に各地の公営競技場に通っています。競艇や競輪など、それぞれの競技は奥が深いようで、レースには手が出せていませんが、鉄火場をオドオドしながら徘徊しているうちにJT-60Uの実験の時と似た感覚を覚えることに気が付きました。例えば競艇の場合、①専門紙・予想屋・展示航走などの情報を参考に投票先を検討、②投票先の決定・舟券の購入、③締切2分前、1分前、締切などの放送の後レーススタート、④レース中、コーナーでの競り合いなどにより、「おーっ！♪」、「あ〜」の声、⑤レース終了・次のレースの投票準備、のような流れになります（←超素人の目線です）。JT-60Uの実験では、①過去の実験や予測計算の結果を参考に実験条件を検討、②実験条件の決定・入力、③放電2分前、1分前などのカウントダウンの後プラズマ放電開始、④放電

中、プラズマの挙動により、「おーっ！♪」、「あ〜」の声、⑤放電終了・次の実験条件の準備、といった流れでした。ほとんどコピペです。また、実験では新しい結果を得るために挑戦的な条件を選択することがありましたが、一方で不安定性の発生などにより期待したデータにならない可能性も高くなります。まさにギャンブル最先端の研究です。このほか、実験では運転時間内に多くの放電を行うためにスピード感が大事でした。競技場でレース情報を表示するモニタを凝視して何かを書き留めた後に投票を急ぐ高齢のファンを見てこの点でも似た感覚を覚えました。

JT-60SAのファーストプラズマが来年に予定されています。久しぶりにプラズマが見られるのが楽しみな一方、あのプレッシャーが蘇ると思うと複雑な気持ちにもなります。リラックスする意味で、競技場のように、ビールに加えモツ煮込み・焼き鳥・アジフライ・ゲソフライ・焼きそば・タンメンなどが利用できるとういのですが…。

(諫山明彦)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長	森 雅博		
副 会 長	豊田浩孝 (推薦委員長：学会賞, 男女共同参画委員長)	竹入康彦 (推薦委員長：研究助成, 研究部会連絡会委員長)	
常務理事	下妻 隆 (総務委員長)		
理 事	浅野史朗 荒巻光利 大野哲靖 (企業展示検討委員長)	岸本泰明 (年会運営委員長)	
	木戸修一 (財務委員長)	小西哲之 坂本瑞樹 (編集委員長)	
	齊藤輝雄 篠原孝司 神野雅文 (企画委員長)		
	中井光男 長谷川晃 (広報委員長, 支部・地区研究連絡委員長)		
	和田 元 渡邊隆行		
監 事	利根川昭, 中村圭二		

プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 荒巻光利 応用 豊田浩孝 核融合プラズマ 大野哲靖 核融合炉工学 小西哲之

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：坂本瑞樹(筑波大) 副委員長：荒巻光利(日大)
エディタ：酒井 道(滋賀県立大), 比村治彦(京都工繊大), 波多野雄治(富山大), 城崎知至(広島大), 藤田隆明(名大), 村上定義(京大)
編集委員：浅井朋彦(日大), 有川安信(阪大), 池添竜也(九大), 諫山明彦(量研), 今寺賢志(京大), 岩田夏弥(阪大), 宇佐見俊介(核融合研), 大塚哲平(近畿大), 小川大輔(中部大), 乙部智仁(量研), 小柳津誠(量研), 桑原大介(中部大), 栗田弘史(豊橋技科大), 小林 真(核融合研), 齊藤誠紀(山形大), 齊藤晴彦(東大), 清水鉄司(産総研), 高橋和貴(東北大), 竹田圭吾(名城大), 田中宏彦(名大), 辻村 亨(核融合研), 時谷政行(核融合研), 松下恭子(東京理科大), 森田太智(九大), 安原 亮(核融合研), 山田大将(長野高専), 吉田雅史(山口大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第95巻第11号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2019年(令和元年)11月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: http://www.jspfor.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。